

<別紙>

今回の取り組みにご賛同いただいた医療機関・企業のコメントは以下の通りです。

「ヘルスケア生成 AI 活用プラットフォーム」と「BluStellar 共創パートナープログラム / 生成 AI for Healthcare」は、労働人口減少による医療従事者確保や地域全体での医療の質向上などの難題をデジタルの力で解決できる大きな可能性を秘めています。当院は、これらが現場を支える基盤となり、患者さんや医療スタッフが安心して最先端技術を活用できる未来へ向け、この取り組みを心から応援したいと思います。

株式会社麻生 飯塚病院 院長
本村 健太

医療や介護に関する情報には大きな格差が存在し、制度も縦割りであるため、どのようなサービスを受けられるのか、また自分に合った地域のサービスが何かを把握するのが難しいのが現状です。この課題に対処するために、ワンストップで相談に応じてくれる個人専用の AI アバターを育成する仕組みの構築は、今後、大きな需要が見込まれる事業です。また、単に縦のつながりだけでなく、横の連携の伸展により、日本が抱える少子高齢化の課題に対して、スマートシティの概念と同様に、個人の情報のスマート化にも大いに貢献することが期待されます。

岩手県立久慈病院 副院長
三浦 一之

地域全体で切れ目のない医療を提供するために、当院では「地域統合型・医療のエコシステム」の実現を目指しています。医療機関連携は国としても重要視されるミッションの一つです。しかし、未だに IT 活用の壁が高く、アナログな作業に多くの労力を注いでいる現状があります。今回の取り組みがこの状況を打破し、セキュアかつ効率的に地域全体で医療資源を活用できる時代を切り開いてくれることを期待しています。

公益財団法人大原記念倉敷中央医療機構 倉敷中央病院
情報システム部長
藤川 敏行

地域医療の現場で日々奮闘されている皆様のご努力に心から敬意を表します。特に、少子高齢化が進む中での人手不足という課題に対し、生成 AI を活用した革新的なソリューションを模索されている姿勢に感銘を受けました。地域の特色を活かし、日本医療の崩壊や地域医療の壊滅を救う新たなサービスの立ち上げを応援しています。

済生会熊本病院 医療情報部 兼 医療連携部長補佐
小妻 幸男

病院完結型から地域完結型医療への移行に伴い、NECの電子カルテを関連3病院で使用し、それぞれの病床数をみながら転院調整しています。地域内の他施設への紹介・逆紹介は電話やFAXでの連絡が必要で、これまでの実績や経験で患者さんに合った病院紹介を行ってきました。これらの調整を生成AI活用プラットフォームで行えれば、より迅速・円滑な対応ができ、包括的な地域医療サービスの展開が可能になるものと期待しています。

JA 長野厚生連 佐久総合病院 佐久医療センター
副院長・DX推進本部長
遠藤 秀紀

地方に住む住民にとって医療介護福祉は欠かすことができないライフラインです。しかし地方では医療、介護、福祉の担い手が不足して十分なサービスが提供できなくなる未来が予測されます。人の不足をICTやAIの力で補う必要があり、NECの取り組みに大いに期待します。

名寄市立総合病院 情報管理センター長 兼 名寄市健康福祉部参与
守屋 潔

当院をはじめ、地方都市では高齢化・少子化に伴う人口減少が進み、既に労働力の確保が困難な状況に瀕しています。そのような中、本プログラムで地域の医療、日本の医療を救うサービスがたくさん立ち上がることを期待しております。

社会福祉法人恩賜財団済生会支部 北海道済生会小樽病院 事務部長
五十嵐 浩司

医療経営の質の向上や医療機関で働く人々の働き方改革に資するサービスを、この「ヘルスケア生成AI活用プラットフォーム」を使って社会実装していきたいと考えます。多くの方々と一緒に持続可能な地域医療体制の実現を目指しています。

株式会社麻生情報システム ヘルスケアソリューション部 部長
行徳 英二

少子高齢化・人口減少が進み、人材確保がより厳しくなる将来に向けて、生成AIを活用した新サービスの創造と提供は医療業界ならびに私たちIT業界にも大きな希望となります。本プログラムへの参加により、NECやパートナー企業様と連携し、地域医療の課題解決や医療DXを加速・推進してまいります。

株式会社石川コンピュータ・センター 代表取締役社長
山浦 伯之

本プラットフォームを活用して、ヘルスケア領域に生成AIを組み合わせたサービスの創出を行い、地域医療機関様とNEC、我々パートナーが共に新たな医療ビジネスの変革を実現出来ることを期待しています。

株式会社K I S 代表取締役
平木 実

「ヘルスケア生成 AI 活用プラットフォーム」の提供と「BluStellar 共創パートナープログラム / 生成 AI for Healthcare」の確立は、持続可能な地域医療の実現に向けた大きな一歩と歓迎しています。新サービスの成功に大いに期待するとともに、地域に根差し、顧客に寄り添うパートナー企業として、共に医療の効率化と質の向上を目指します。

株式会社サンネット 代表取締役社長
山口 隆法

医療 DX の必要性が高まる中、NEC のノウハウを活かした「ヘルスケア生成 AI 活用プラットフォーム」と当社の電子カルテ「MIRAIs シリーズ」の組み合わせが、医療機関の業務改善や患者サービスの向上に寄与することを確信しております。本プログラムへの参加を含め、今後も NEC とのパートナーシップを強化し、医療機関が直面する課題の解決に貢献するソリューションを提供してまいります。

株式会社シーエスアイ 代表取締役社長
新里 雅則

「BluStellar 共創パートナープログラム / 生成 AI for Healthcare」へ当社が参加出来ることを大変嬉しく思います。医療業界における DX は一刻も早く取り組まなければならないテーマであると捉えており、社会課題解決やお客様の夢の実現へ向けた重要な取り組みになると確信しています。本プログラムへの参加を通じ、新たな価値提供の実現に向け一層尽力して参ります。

日本事務器株式会社 代表取締役社長 CEO
田中 啓一

「BluStellar 共創パートナープログラム / 生成 AI for Healthcare」への参加は、新分野へチャレンジする貴重な機会と捉えております。これまで MegaOak シリーズを中心とした病院情報システム導入にて培ってきたノウハウに加え、新たに、このヘルスケア生成 AI 活用プラットフォームを提案に盛り込むことで、医療・介護従事者の業務改善やタスクシフティングの一助として貢献できるものと確信しております。今回のプログラムを通して、NEC・パートナー企業様とともに医療業界の DX 促進に貢献できたらと考えます。

株式会社南日本情報処理センター 代表取締役
中村 洋